



六郷中だより

六郷中学校だより第13号

令和7年12月23日

<六中HP>



発行・文責：校長 渡邊 賢

本日、2学期終業式を迎え、16日間の冬季休業に入りました。日頃から、「睡眠時間を十分にとってほしい」、「積極的に自分から学習時間をとって、学びに向かってほしい」ことを伝えています。

年末年始は、世間もせわしく、家族もせわしくなり、何かとやって済ませることで時間を奪われ、気がつくと年があけているという可能性もあります。

2学期の振り返りや三者懇談等で、R8年度に向けての「頑張りどころ」、「努力のしどころ」が見えてきました。あっという間に過ぎてしまう年末年始だからこそ、手作りの計画表を用意して、納得のいく冬休みを過ごせるようにしましょう。

第2回生徒総会を終えて

19日（金）第2回生徒総会が行われました。様々な意見や要望が各学年から出される中、生徒会本部役員よりR8年度に向けた答弁がされ、六郷中の今年度の成果と反省が1・2年生へ受け



継がれました。R7年度の生徒会本部役員の皆さん、委員長さんたち、部長さんたち、それぞれの立場で六郷中をリードしてきました。今までの経験を今後の生活にいかしてほしいです。ありがとうございました。

総会の後半で『六郷中の未来を語ろう』という話し合いで全校から出された意見を紹介します。

「清掃活動や給食を通して、さらに学年を越えた交流を行いたい」「レクや集会を通して交流を深めたい」「敬語をしっかり使いたい」等で、六中生の強みを伸ばしたい。

「仲の良さをいかして、学習面でわからないことを聞いたり、教え合う」「声かけをしたり、毎キロ

を活用した自己管理をして意識を高くもつ」「当事者意識をもつことで解決する」等で、六中生の弱みを解決したい。

本部より当日出された議題でしたが、全校生徒の話し合いにより、前向きな意見がたくさん出されました。よりよい六郷中を皆さんのが手でこれからもつくっていきましょう。

薬物乱用防止教室から学んだこと

今年は12日（金）に甲府少年鑑別所より講師の方をお招きして、薬物乱用防止教室を行いました。



この学習会は、毎年2年生を対象に行われています。今回の学びで主に話題となったことは、少年薬物非行の動向として、大麻が身近に存在するということです。これは甲府少年鑑別所入所者の大麻使用率が高いことからも裏付けられます。薬物依存症にならないためにはどのようなことをすればよいか、薬物乱用からみんなを守るにはどうするのか、薬物に関する相談窓口など、様々なことを学びました。

大変真剣な眼差しで学ぶ2年生の姿が、とても印象に残りました。

1年生 総合的な学習をとおして

1年生は12月、「認知症サポート講習」「福祉講話」「高齢者疑似体験」の3つを、例年行っています。町の



社会福祉協議会の方のお力添えをいただき、講話や手話の体験など、生徒自身が体験することで多くのことを学びました。誰に対しても優しく接することができる六中生の素晴らしいを感じました。